

フロム・ウラヌス

From Uranus

有味 風

はじめに

故郷の惑星シャッグアイを追われ、天王星（リーギクス）に到達したシャッグアイからの昆虫生物（シャン）。その中に、彼の極寒の惑星で崇拜される温厚な双頭の蝙蝠神ルログ崇拝に改宗したものがいた。しかしルログの司祭となったシャンは、生来の邪悪な性質から、生贄の手足を意に反して強引に切断し、それをルログ神に捧げるという過激な行為を繰り返し、やがてリーギクスからも追放されてしまう。

追放されたルログの司祭（シャン）と彼に共感した二人のリーギクス人の侍祭は、アーカム郊外のエルム山にあるコウモリ穴に降り立ち、そこを新たな寺院として再び邪悪で過激な形態のルログ崇拝を開始した。

シャンはドリームランドで知り合ったスティーヴン・テイラーという名の「夢見る人」をそそのかしてエルム山へ誘い出し、憑依能力によりその体を乗っ取ってしまう。強靱な肉体を手に入れたシャンはルログへの供物（＝生物の後ろ脚）を手に入れるために活動を開始する。人間を襲うことで衆目を集めることを良しとしなかったテイラー＝シャンが目標に定めたのは動物たちだったが、人間の肉体に備わった素早さで捕えることのできる動物には限界があることを知る。

シャンはアーカムの猫たちから後ろ脚を強奪するため、ドリームランドのズーグたちに助力を求める。シャンからの胡乱な報酬の申し出に興味を引かれ、また、血に流れる猫族への敵愾心から、はみ出し者の三匹のズーグたちがシャンと手を組む。俊敏な三匹の暗殺者を手に入れて、テイラー＝シャンによる連続後ろ脚強奪殺猫事件の幕が上がった。

両親と弟を殺され、シャンに復讐を果たすために地球にやって来た天王星からの猫と力を合わせて、探索猫たちはテイラー＝シャンの凶行を止めなくてはならない。

取得推奨トリック

- [足元に] Under the Feet
- [鳥を捕まえる] Catch Birds
- [ドリトル先生] Doolittle

背景

プレイヤー・キャラクターたちはアーカム南西部のアップタウンの一角を縄張りになっている猫のグループのメンバー。グループは 12 匹の猫から成る。

グループのボス猫はリンカーンという名前の大柄な虎猫。側近／用心棒としてチッピーという名前の大柄な雌の黒猫と、青傷と呼ばれる背中に傷がある茶色の猫がいる。

パセリという名前の子猫が PC たちの弟分として付いて回っている。

発端

ある晩、屋外で眠っていた探索猫（飼い猫より、野良猫の方が相応しい）に、虫取り網を持った人間の男性（この人間、スティーヴン・テイラーについては後述する）が忍び寄る（<危険察知>、<聞き耳>、<幸運>等の技能で、探索猫は何ものかが忍び寄ってくることに気づくことができる）。テイラーは網を振り回して猫を捕まえようとするが（テイラーの DEX 15 に対する DEX の対抗ロール。<回避>ロールでも良いだろう）、それは失敗する。

逃げ延びた猫が安全な距離からテイラーの様子をうかがうと、滴り落ちる汗をぬぐいながら独り言をいうテイラーの声がかすかに聞こえてくる（<人間語>ロールによって内容を理解できる）。

「やはり、この肉体ですばっこい連中を捕まえるのは無理だな。奴らに対抗できる協力者を調達しないと……」

テイラー（＝シャン）は虫取り網を担ぎ、肩を落として夜のアーカムを立ち去っていく。

※この発端はプレイヤーにテイラー (=シャン) の存在を意識させることが目的なので、探索猫が捕まらないように調整すること。

猫の集会

ある月夜の集会。

最近、後ろ脚を切断されて殺される殺猫事件が続発している。殺された猫に共通点はない（縄張りや体色、飼い猫／野良猫などもばらばら）。PC の所属するグループにも犠牲猫が2匹いる（コロナ（雌・白猫、飼い猫）とタビー（雄・ブチ猫・野良猫））。

<裏社会>に成功した PC は犬やその他の動物も同じ被害にあっていることを知っている。ただし、まだ人間の犠牲者は出ていない。

パセリがアーカム西部の廃墟群（クラークズ・コーナーズ）で人間ほどの大きさの見慣れない怪物を見かけた。パセリは「あれが犯人かも知れない！」と主張する。

リンカーンがグループの面々を見渡して、PC の誰かに調査を命じる。

連続後ろ脚強奪殺猫事件の調査（アーカムの街中）

●人間から（スティーヴン・テイラーの情報）

人間語を理解できる飼い猫は飼い主たちが話していた内容を理解できる。

スティーヴン・テイラーという売れない詩人がアーカム南西部の郊外に頻繁に通っている。近所づきあいが無い得体の知れない人物なので、動物殺しを繰り返す変質者なのかも知れない。

<夢知識>ロールに成功した PC はスティーヴン・テイラーという「夢見る人」の名前を知っている。

●猫以外の動物（犬など）から（犯人についての手がかり）

犬は野犬の類が狙われており、飼い犬は狙われていない。一度飼い犬が狙われたが、家人が騒ぎを聞きつけて事なきを得た。【ドリトル先生】が使える PC はその飼い犬を探し出して話を聞くことができる。

襲われたのはアップタウンのデイビス家で飼われてい

る雑種犬のシャック。シャックは小さな3匹の動物（ブーグ）に襲われたと話す。

●別地区の猫から（事件の発生場所に関する手がかり）

<地位>、<愛らしさ>等の交渉系技能が必要になるかもしれない。敵対的な態度に対しては集団で対抗してくるので注意（<アイデア>ロールに成功すれば<威圧>技能の使用は危険であることが分かる）。アーカムの南部（エルム山のコウモリ穴に近い側）、アップタウンやロウワー・サウスサイド地区のグループの猫が主に犠牲になっている。

怪物の調査（アーカム郊外、クラークズ・コーナーズ）

クラークズ・コーナーズの廃屋の中で苦しそうに唸っている生き物がいる（**理性度喪失：0/1D4**）。それは天王星からの猫で、衰弱してほとんど動けない。彼は月から地球へ跳躍したが、慣れない跳躍で着地に失敗し、足を怪我して動けなくなってしまっている。天王星からの猫は敵意を見せず、地球の従兄弟たちに助けを求める。彼のために餌を見つけてやろうとするなら、<裏社会>や<自然>などで一番近い餌場や水場を見つけることができる。

彼はリーギクス（天王星）から家族（両親と弟）を殺したシャンを追ってきたと話す。そのシャンはルログ崇拜の狂信派で、崇拜様式が残酷すぎてリーギクスから追放されたのだ。シャンたちは同意していない犠牲者から足を切断してきて、それをルログに捧げる。邪悪でサディスティックなシャンは、足を切断する際に生贄を殺してしまうこともある（そのほうが多い）。

天王星の猫から得られる情報

- 天王星からの猫はシャンをドリームランドで見かけた。その時、シャンは黒い小人の姿をしていた。
- 天王星からの猫はドリームランドの「あやかしの森」周辺で見かけた黒い小人を追って、ドリームランド経由で地球にやって来た。シャンたちはこの周辺にいるはずだ。シャンには憑依能力がある。
- シャンには侍祭としてリーギクス人が二人付き従っているはずだ。

PCは相談して天王星からの猫にニックネームを付ける（彼の本名は地球の猫の声帯では発音できない）。天王星

からの猫はニックネームを気に入って、歯をむき出して低く唸る（恐ろしい顔だが、どうやら喜んでいるようだ）。

ドリームランドでの調査

●ウルタールにて

【月への跳躍】トリックでドリームランドのウルタールの町へ行くことができる。ウルタールでは、かつて地球に住んでいた黒猫、サム・パーキンスが声をかけてくる。

サム・パーキンスはスティーヴン・テイラーを知っている。テイラーは芸術家の町フラニスに出入りしていた新参の「夢見る人」で、見慣れない黒い小人と接触していた。**<夢知識>**ロールに成功すると、黒い小人がドリームランドにおけるシャンの姿である事が分かる（テイラーとシャンのつながりが判明）。

フラニスへ行くなら、サム・パーキンスはオート・エスペランス亭という宿屋に住み着いている老猫を紹介してくれる。

●フラニスにて（ウルタールの北）

オート・エスペランス亭という宿屋に物知りな老猫が住み着いている。

老猫によると、スティーヴン・テイラーはフラニスでは新参の芸術家（詩人）で、最初は町の住人に歓迎されていたが、黒い小人と付き合いようになって疎遠になっていったという。最近はその姿を見かけていない。

黒い小人はあやかしの森でズーグと取引をしたかもしれない。**<裏社会>**技能などにて、はみ出し者のズーグの集まり（三つ又の毒キノコの団）が最近姿を見かけないという噂を入手することができる。

スティーヴン・テイラーの調査（シャンに憑依されている）

※このあたりから天王星からの猫が調査に参加する。彼はアーカムの町中に入ることはできないが、郊外やドリームランドには同行できる。

テイラーはロウワー・サウスサイド地区の「どぶ板アパート」に住んでいる。

●人間から

テイラーの住所は**<人間語>**等によって判明する。テイラーは売れない詩人（『夢の彼方』という詩集を一冊出版している）で、あまり近所づきあいが無い。テイラーは人間年齢で26歳である。

数日前の早朝、アーカムの郊外から戻ってきたテイラーの服に血のようなものがついてたのを新聞配達員が目撃したらしい。

●エルム山周辺を見張る

コウモリ穴から出てくるテイラーを尾行する。

スティーヴン・テイラーは蛇の巣洞窟の近くの「コウモリ穴」に通っている（ランドルフ・カーターがドリームランドへ入った蛇の巣洞窟に近いコウモリ穴は、ドリームランドに近い位置にある）。

アーカムからコウモリ穴へ行くスティーヴン・テイラーを尾行すると、ズーグ（三つ又の毒キノコの団）に行く手を阻まれる。ズーグたちは足止めをするとそれ以上戦う事なく立ち去る。

※天王星からの猫がいる場合、ズーグたちは特に戦闘を避けようとする。

テイラーの部屋

どぶ板アパートのテイラーの部屋に侵入するには**<俊敏性>**や**<登攀>**の技能ロールが必要になる。テイラーが自宅にいる確率は昼間は40%、夜は20%である。テイラー在宅中に部屋に侵入するなら、**<隠れる>**や**<忍び歩き>**等の技能ロールも必要になるだろう。

テイラーの部屋の書架には詩集にまじって魔道書『パピロンの炎上（英語）』と『ミサ・ジ・レクイエム・ペル・シュジャイ（イタリア語）』がある（どちらもシャンに関する記載がある魔道書）。対応する**<人間語の読み書き>**を持つPCは魔道書からシャンに関する一般情報を得られる。

シャン（シャッグイからの昆虫）

巨大な眼球と三つの口、十本の脚、半円形の翅をもつ知的生物。故郷であるシャッグイ星滅亡後、ザイクロトル、サゴンを経てリーギクスに定着、後に宗教上の対立から、

一部が地球に飛来した。

他には自著『夢の彼方』が 30 冊ある以外、テイラーの部屋にめぼしい物はない。

コウモリ穴の内部

コウモリ穴にはコウモリの群れが暮らしていたはずだが、それはすっかりいなくなってしまうている。洞窟の奥から水が染み出していて、洞窟の両端を細い小川となって流れている。洞窟内の温度は低い、コウモリの排泄物などの臭気が充満して、快適とは言えない。

<目星>ロールに成功すると洞窟の岩の陰にコウモリの死骸を見つける。<アイデア>ロールに成功すると、その死骸の後ろ脚が切断されている事に気付く（**理性度喪失：0/1**）。

コウモリ穴の内部には常に二体のリーギクス人がいる。リーギクス人は洞窟の奥のルログの祭壇を守っているため、気付かれずに先に進むには<隠れる>と<忍び歩き>のロールが必要となる（※天王星からの猫と一緒にいる場合はさらに注意が必要）。

コウモリ穴の奥にある祭壇代わりの大岩の上には、テイラー＝シャンが集めた、生物の後ろ脚が無造作に積み上げられている。彼らはこの後ろ脚をルログに捧げることによって、神を降臨させるための儀式を毎夜執り行っている。

また、人間が足を踏み入れる可能性の少ないコウモリ穴は、リーギクス人たちの隠れ家にもなっている。

スティーヴン・テイラーが洞窟内にいる可能性は昼間は 30%、夜は 60%である。

迫撃！ 三つ又の毒キノコの団

このイベントは探索猫たちの調査が行き詰った場合などに使うことができる。探索猫たちがテイラー＝シャン、ズーグ、コウモリ穴といった事件解決に不可欠な手がかりにたどり着けない場合、このイベントがそれらへの手掛かりとなってくれるだろう。

イベントが発生する場所はアーカム市街、クラークズ・コーナーズやエルム山周辺の郊外地区など、どこでも構わない。入手させたい情報の近辺で発生させるのが良いだろ

う。

ひと気の無い場所で三体のズーグが探索猫を襲撃する。<目星>ロールに成功すると、離れた場所で襲撃の様子をうかがう人間（テイラー＝シャン）の存在に気づくことができる。「発端」でテイラーに追いかけられた猫なら、この人間がその時の襲撃者と同一人物であることを識別できるだろう。

三つ又の毒キノコの団は探索猫の後ろ脚を狙って迫って来るが、タイミングよく農場を行き来する農夫や、帰宅途中のミスカトニック大学生などが通りかかり、騒ぎを聞きつけて近づいてくる。ズーグや自分の姿を見られたくないテイラー＝シャンは、指笛で合図を送ってズーグたちを退却させ、自らも姿を消す。

キーパーはこのイベントで探索猫を過剰に傷つけることのないように注意しなければならない。1～2 戦闘ラウンドの爪と牙の応酬後、通行人を登場させて戦闘を終了させること。もし天王星からの猫が探索猫と一緒に行動していたなら、人間たちの間で謎の野獣（天王星からの猫）の噂が広まらないようにするために、彼らも急いで現場から逃げさせなければならないだろう。

探索が順調に推移していれば、このイベントを発生させる必要はない。

人間の子供の犠牲者

※PC がコウモリ穴やスティーヴン・テイラーにたどり着き、事件の全貌を把握したらこの事件が起こる（事件が停滞した場合には、それを打破するために発生させても良い）。

人間語が分かる飼い猫は飼い主の話や新聞記事から、野良猫は他の猫たちの噂話を耳にして（<裏社会>/<知識>）この事件を知る（<人間語>によって得た情報の方が、より詳細なじょうほうとなるだろう）。

スティーヴン・テイラー（シャン）がついに人間の子供の足を切断して殺した。犠牲者はロウワー・サウスサイドに住むコリン・ハウランドという名の 5 歳の少年。アーカムの南の郊外で両足を切断された遺体として通行人（ハイキング帰りのミスカトニック大学の学生四人）に発見され

た。犯人、および切断された両足はまだ見つかっていない。

●<人間語>やその他の調査技能により分かる情報

被害者の少年の遺体には小動物の引っ掻き傷が無数に残されているが、死因は頸部圧迫による窒息死である（ズーグたちに襲わせた少年を、テイラー＝シャンが絞め殺して足を切断して持ち去った）。

●<人間語>やその他の調査技能により分かる情報

スティーヴン・テイラーの行方が分からなくなっている。

●コリン少年の襲撃された現場（アーカム南、エルム山近くの野原）での調査

<目星>ロールに成功すると人間の足跡に混じって小動物（ズーグ）の足跡を（<追跡>に成功すると、一つの人間の足跡がズーグと行動を共にしていたことが分かる）、<嗅ぎ分け>ロールの成功で敵性生物の臭い（さらに<夢知識>技能でズーグであることが分かる）を発見する。

リンカーンの悲劇

ズーグが関わっていると知れば（PC が知らせれば）、リンカーンは動く。リンカーンはズーグとの決着をつけるために、チップと青傷をつれてコウモリ穴へ向かう（パセリがそれを PC に伝える）。グループの猫たちは、リンカーンたちを除くと、シャンやリーギクス人を恐れてコウモリ穴へは来てくれない。

PC たちが（天王星からの猫を連れて）コウモリ穴へ向かうと、チップと青傷の悲鳴が聞こえ、その方角へ行くと見ると二匹は後ろ足を切断されて死んでいる。PC が駆けつけた時点でリンカーンは後ろ脚切断されて虫の息となっており、ズーグの群れにやられたと言い残して息絶える（**理性度喪失：0/1D6**）。

<嗅ぎ分け>ロールに成功した PC は仲間の猫の血の臭いに混じって敵（ズーグ）の獣臭が残っていることに気付く。<聞き耳>や<目星>ロールに成功した PC は暗闇に紛れて逃走するズーグたちに気付く（気付かなかった場合は<追跡>技能でズーグの後を追える）。ズーグたちは切断した猫の後ろ脚を持って、コウモリ穴の方角へと走り去る。

死んだ仲間たちの傷口を見ると、刃物ですっぱりと後ろ

脚が切断されている事が分かる。<アイデア>ロールに成功すると、ズーグの筋力では普通の刃物でこのような切断はできないことに気付く（リーギクス人の特殊ナイフを使っている）。

コウモリ穴の決戦（エルム山南面）

コウモリ穴の入り口は 3m×3m くらいだが、先に進むにつれて狭くなっている。狭くなっている場所は 1.5m×1.5m くらいの広さ。猫は並べるが、天王星からの猫には窮屈で立ち上がれない。

●VS 三つ又の毒キノコの団

狭くなっている場所での「三つ又の毒キノコの団」のズーグたちとの戦闘。ズーグは誰かが 1 ダメージでも受けると一斉に逃げ出す。天王星からの猫は身体が大きくて戦闘には参加できないが、手だけ突っ込んで援護をする。クリティカル命中（通常命中率の 1/5）の場合のみ、天王星からの猫の攻撃は命中する（ただし、ダメージは増加しない）。

●VS リーギクス人たち

洞窟の奥ではリーギクス人とテイラー＝シャンがルログ招来の儀式をしている。祭壇の役目を果たすと思われる平らな岩の上に足（リンカーンたちの足、コリン少年の足、その他の動物・昆虫の足）が積み上げられている。

シャンの命令でリーギクス人は PC たちを排除しようとして向かってくる。リーギクス人の体皮は硬くて猫の牙や爪では傷を負わせられない（天王星からの猫がそのように助言する）ので、リーギクス人の足をすくって転倒させる。[足下に] トリックか **DEX の対抗ロール**で解決。転んだリーギクス人はでこぼこした洞窟の不安定な足場と自重でしばらく起き上がれない。転んだリーギクス人から武器を取り上げるか否かで後の展開が変わる（後述「ルログ出現？」を参照）。

PC たちが独自に突破のアイデアを出したなら、可能な限りそちらを採用することが望ましい。ただの力押しでは、局面打開は不可能だろう。

●VS テイラー＝シャン

テイラー＝シャンを追い詰めれば（テイラーの耐久力が

5ポイント以下になる)、シャンは憑依を解いて逃げ出そうとする。**[鳥を捕まえる]** トリックを持っている猫は逃げ出そうとするシャンを**<引っ掻き>+10%ルール**で捕まえることができる。トリックを持っていない猫がシャンを捕まえるには、**DEXの1倍ルール**に成功しなくてはならない。シャンの憑依が解けると、テイラーは気を失う。

シャンを捕まえたら、天王星からの猫がそれをバリバリと食べて復讐完了。天王星からの猫は勝利の雄叫びを上げる。

シャンを捕まえる事ができなければ、昆虫生物はコウモリ穴の外へ飛び去っていく。後述の「ルログ出現？」でルログが招来されていれば、コウモリ穴の外から歓喜の絶叫が聞こえてくる。「おお！ 我が神よ！！ この忠実なるしもべくあwせdrftgyふじこlp;」

ルログ出現？

転倒したリーギクス人から武器を取り上げていなければ、彼らはPCがテイラー＝シャンと対決している間に自分たちの足を全て切断して、ルログに捧げる。

にやる・しゅたん！ にやる・がしやんな！ にやる・しゅたん！ にやる・がしやんな！

星より来たりし沈黙の蝙蝠神よ。我らが生贄をばめでたくご照覧あれ。

リーギクス人たちは切断して短くなった足を不気味に蠢かせて、招来の呪文を繰り返している。

夜の闇が降りたコウモリ穴の外に出て、**POWの5倍ルール**に成功すると、星のない夜空を完全な無音で飛ぶ何ものかの影に気付く（**<危険察知>**ルールに成功すれば、身の危険を感じて、暗闇に目を凝らす事なく逃げ出すことができる）。星と火花を散らしながら、双頭の蝙蝠神ルログはコウモリ穴上空をゆっくりと旋回して飛び去る（**理性度喪失：1D8/1D20**）。

ルログを招来し終えたリーギクス人たちは絶命している。**<アイデア>**ルールに成功すると、彼らが至福の表情を浮かべている事が感じ取れる。

結末

シャンを倒していれば、天王星からの猫はPCたちに礼を述べて帰っていく。もしPCが天王星に行くことがあれば、彼が歓迎してくれるだろう。

シャンを取り逃がしていれば、天王星からの猫はPCの協力を礼を言って、さらにシャンを追いかけるために旅立っていく。

もしスティーヴン・テイラーが生きていれば、彼はエルム山で倒れているのを発見されて、病院に収容される。身体が回復したら、今度は療養所で精神の治療も必要になるだろう。彼は「猫恐怖症」になる。

アーカムでひっそりと起こっていた連続後ろ脚強奪事件は終了する。

理性度報酬

- 後ろ脚強奪事件を解決したら：1D6ポイント。
- シャンを倒したなら：1D6+2ポイント（ズーグ、リーギクス人の撃退も含む）。
- スティーヴン・テイラーが生きていれば：1ポイント。

フロム・ウラヌス ノンプレイヤー・キャラクター

天王星からの猫、リーギクスから来た復讐者

STR 13 CON 7 SIZ 10 INT 5 POW 19
DEX 22 耐久力 9

ダメージ・ボーナス：なし

武器：尾のとげ 50%、ダメージ 1D10+db

噛みつき 40%、ダメージ 1D8+db

かぎ爪 50%、ダメージ 1D6+2+db

装甲：2 ポイントの革のような皮

呪文：なし

理性度喪失：0/1D4

家族の仇(=シャン)を追って天王星からドリームランドを経由して地球にやって来た。勇猛果敢で、家族想いで、仲間想い。彼の真の名前は地球の猫には発音できないため、ニックネームをつけてくれるように頼む。PCたちを「地球の従兄弟たち」と呼ぶ。最終的に、彼は単身でもシャンを倒そうとしてコウモリ穴へ向かう。

シャン、ルログを崇拝する司祭

STR 2 CON 2 SIZ 1未満 INT 21
POW 22 DEX 30 耐久力 2

ダメージ・ボーナス：該当せず

装甲：なし

技能：夢見 40%。

呪文：ルログの招来、アザトースの招来、その他

理性度喪失：0/1D6

このシャンは母星シャッグアイ滅亡時に脱出し、天王星(リーギクス)にたどり着いた一派の内の一体だ。リーギクスでアザトース崇拝からルログ崇拝に宗旨を替えている。

ある時、信仰に対する褒美のつもりか、あるいは単なる気まぐれか、ルログはシャンに<夢見>技能を与えた。するとシャンは多くの供物を捧げれば、さらに大きな力を得られると考えて、信仰のやり方を過激化させていった。ルログの比較的温厚な崇拝方式に従わずに“這い寄る混沌”への狂信的な崇拝様式で生贄を捧げたため、その邪悪で暴力的な行いからリーギクスを追放されて、少数の信徒(リーギクス人)と共に地球に飛来した。

現在、シャンはスティーヴン・テイラーに憑依して、ル

ログへの供物とするために、主に小動物(昆虫類、爬虫類、鳥類、小型の哺乳類など)の後ろ脚を収集している。シャンの狂った信仰心により、より大型の動物、人間の足を求め始めるのは時間の問題だろう。

本来、シャンは脚を十本持つが、このシャンには九本しか脚がない。欠けた左側の一番後ろの脚は、信仰心の証として、かつて自らルログに捧げたのである。

スティーヴン・テイラー、シャンに憑依された詩人

STR 12 CON 9 SIZ 16 INT 17(21)
POW 11(22)

DEX 15 APP 10 EDU 18 正気度 20(0)
耐久力 13

ダメージ・ボーナス：+1D4

武器：こぶし 50%、ダメージ 1D3+db

装甲：なし

呪文：シャンとの接触、夢の薬の製法

技能：クトゥルフ神話 6%、芸術(詩作) 40%、人類学 40%、夢知識 35%、夢見 40%

注意：カッコ内の能力値はシャンに憑依されている時の数値

テイラーはミスカトニック大学を卒業した売れない詩人だ。感受性が強い若者で、ドリームランドを行き来する能力を持つ「夢見る人」でもある。これまでに『夢の彼方』という(クトゥルフ神話とは関係のない)詩集を自費出版しているが、内容が鬱々としすぎているため、芳しい評価は得られていない。

テイラーは古書店で希少な詩集を探している時に、偶然にも『バビロンの炎上』と『ミサ・ジ・レクイエム・ペル・シュジャイ』の二冊を手に入れ、シャッグアイからの昆虫生物(シャン)についての知識を得た。シャンに破滅的で退廃的な魅力を感じたテイラーは、やがてこの危険な昆虫生物と接触を持ちたいと望むようになる。

二週間ほど前のある晩、夢の中でテイラーは黒い小人(ドリームランドにおいて、シャンは黒い小人の姿を取る)に出会い、親しくなった。黒い小人はテイラーの詩作にインスピレーションを与える可能性のある儀式を、覚醒の世界で見せることを彼に約束する。目を覚ますと、テイラーは夢の中の黒い小人の導きに従って、アーカム郊外の

エルム山へと向かった。そこで彼に憑依するために、シャンが手ぐすね引いて待っているとも知らずに……。

ゲーム開始時には既にテイラーはシャンに憑依されてしまっている。テイラー＝シャンは人間に身をやつして、アーカムのとその周辺を自由に歩き回り、獲物を見定めたり、人間界の情報を集めたりしている。

リーギクス人（二人）、リーギクスから来た立方体人

STR 21 CON 16 SIZ 17 INT 17 POW 10
DEX 10 耐久力 11

ダメージ・ボーナス：+1D6

武器：ナイフ* 25%、ダメージ 1D8+db

ムチ** 30%、ダメージ 1D4+2D10 の電気ショック

*ナイフはまるで柔らかい肉を切るかのように金属を切り裂くことができる。

**ムチは接触すると同時に電気を放電し、2D10 の追加ダメージを与える。もしムチを使った時のロールが貫通となったなら、それは犠牲者に巻き付いた事になり、以後のラウンド、自動的に 2D10 の電気ダメージを受けることになる。回避ロールに成功する事によって、犠牲者はムチを避ける事が可能。

装甲：19 ポイントの金属皮

呪文：ルログの招来

理性度喪失：0/1D8

シャンに付き従ってリーギクスから地球へやって来た侍祭たち。リーギクス人としては若者であり、シャンの過激なルログ崇拝に感化されてしまっている。彼らは狂信者であり、ルログへの生贄に他人／自分を捧げることに對してまるで躊躇いがない。

ズーグ（三匹、三つ又の毒キノコの団）、あやかしの森の鼻つまみ者

STR 6 CON 6 SIZ 3 INT 9 POW 13
DEX 25 耐久力 5

ダメージ・ボーナス：-1D6

武器：噛みつき 30%、ダメージ 1D4+db

ナイフ* 25%、ダメージ 1D8+db

投げ矢 20%、ダメージ 1D6+1/2db

*ナイフはまるで柔らかい肉を切るかのように金属を切り裂くことができる。

装甲：なし

理性度喪失：0/1D3

この三体のズーグたちはテイラー＝シャンが小動物を狩るために雇った俊敏なハンターだ。彼らはドリームランドのあやかしの森に棲むズーグ族の一員だったが、粗暴でいたずら好きな性質を仲間から疎まれて、集団から追い出されたはみ出し者たちだった。彼らは三つ又の毒キノコの団を名乗り、テイラー＝シャンの傭兵を務めている。

ドリームランドで黒い小人の姿をしたシャンにスカウトされた三つ又の毒キノコの団は、「ルログからの褒美」という胡乱な報酬と、生来の敵である猫族を襲撃するというスリル、禁忌である覚醒の世界への旅に魅せられてシャンに協力することにし、ナシュトとカマン＝ターの目を盗んで眠りの階段を駆け上がり、アーカムの郊外の蛇の巣窟から覚醒の世界へとやって来たのだ。

ズーグたちはルログに対する信仰心を微塵も持っておらず、自分や仲間へ危険が及べば、すぐにドリームランドへと逃げ帰ってしまうだろう。

彼らの持つナイフはリーギクス人が使うものと同じもので、非常に危険だ。

パセリ、グループの新顔の子猫

PCたちと同じグループに属する白黒の斑の子猫。グループに入ったばかりで、かつて腹を空かしていた時に餌場を教えてくれた PC（〈裏社会〉が一番高い PC）の一匹に恩を感じて慕っている。

パセリはストーリーの進行に利用できるが、冒険中に彼の能力値が必要になることはほとんどないだろう。

ルログ、星より来たりし沈黙の蝙蝠神

STR 40 CON 55 SIZ 45 INT 25 POW 35
DEX 20 耐久力 50

ダメージ・ボーナス：+4D6

武器：噛みつき 75%、ダメージ 2D6

火花と炎 45%、ダメージ 1D10+1D6 の CON の喪失

投げ矢 20%、ダメージ 1D6+1/2db

装甲：なし。ただし、ルログは火と光によってしかダメージを受けない

理性度喪失：1D8/1D20

天王星で崇拝されるニャルラトテップの化身。

双頭の蝙蝠のような姿をしたこの神の二つの顔には、ひらひらと動き回る無数の星のような目が動き回っている。蝙蝠神は音もなく羽ばたき、黒い火花と炎の雨を地に降らせる。